

芳養公民館だより

未来へつながる道
JUNCTION TO THE FUTURE 田辺市

令和元年7月号 No. 430

発行：芳養公民館 館長：泉 京子 主事：宮畑 直弥

住所：田辺市芳養松原一丁目15-8

TEL：22-1429 FAX：23-1909



第44回 ナイターソフトボール大会 参加者募集！

芳養公民館では、第44回ナイターソフトボール大会を開催します。
日程・内容は下記のとおりとなっておりますので、ご参加等につきましては芳養公民館までお問い合わせください。
大勢の皆様のご参加と、温かいご声援をよろしくお願いいたします。



- 【日程】7月17日（水）～7月19日（金）
※雨天等の場合は翌日に順延します。
- 【時刻】午後7時30分 開始
- 【場所】芳養小学校グラウンド
- 【参加資格】①参加資格は芳養公民館区在住、または在勤であること。（学生不可）
②チーム編成は2地区以内で編成すること。
- 【参加申込】7月10日（水）までに芳養公民館までお申込みください。
※参加申込書は芳養公民館に置いています。
- 【表彰】優勝、準優勝チームに賞状と賞品
- 【その他】①申込締切は厳守するようお願いいたします。
②メンバーの変更は当日でもかまいませんが、必ず申込みを済ませておいてください。
③雨天中止・延期等は代表者に連絡しますので、代表者はメンバーへの連絡をお願いします。（午後6時に決定）
- 【問合せ先】芳養公民館（TEL：22-1429 FAX：23-1909）

ゆかた着つけ講座について

芳養公民館では、これからの夏まつりに向け、「ゆかた着つけ講座」を開催します。
小学生から参加できる講座ですので、どなたでもお気軽にご参加ください。

- ◆日時：7月23日（火）午後7時～
- ◆会場：芳養公民館 2階 和室
- ◆講師：米澤 百子 先生
- ◆参加費：無 料
- ◆対象：小学生以上の女性の方 ※小学生は、保護者同伴でお願いいたします。
- ◆申込締切：7月19日（金）午後5時まで
- ◆準備物：以下の9点（髪の長い方は束ねておいてください。）
①ゆかた ②帯（半幅帯） ③ゆかた用下着（タンクトップでも可）
④裾よけ（短パンでも可） ⑤伊達締め ⑥腰ひも（3本） ⑦きものベルト
⑧タオル（1枚） ⑨小さいおしぼり（タオルハンカチ）
- ◆申込先：芳養公民館（TEL：22-1429）まで、電話でお申込みください。



芳養イキイキクラブ集会場《7月の予定》

◎午後1時30分～

□集会場所在地：芳養松原一丁目8-2

- 1日（月）・・・童謡を歌う日（公民館） 22日（月）・・・カラオケの日
10日（水）・・・縫い物の日 30日（火）・・・体操の日・写経（公民館）

第17回 読み聞かせ教室について

- 【日時】7月27日（土） 午後1時30分～
- 【場所】芳養公民館 大集会室
- 【内容】◇方言を使った昔ばなし
大辺路に伝わる民話
田辺市に伝わる民話 ・「海亀と津波」の話 ・「獅子舞岩」の話
・「雨降り地蔵尊」の話 ・「大湯神社の神様と津波」の話
- 児玉 晴代 さん
- ◇アコーディオン演奏
坂本 義次 さん
・アコーディオン演奏で、懐かしい歌をみんなで歌いましょう。



第27回 グラウンドゴルフ大会 参加者募集！

芳養公民館では、第27回グラウンドゴルフ大会を開催します。
日程・内容は下記のとおりとなっておりますので、ご参加等につきましては芳養公民館までお問い合わせください。

- 【部門】女性の部、男性の部（男女混合は男性の部に含む）
- 【日程】8月20日（火） ※雨天等の場合は翌日に順延します。
※全チーム数が20チーム以上の場合、男性の部は20日（火）、
女性の部は21日（水）に開催。
（20日が雨の場合、21日に男性の部、22日に女性の部を開催）
- 【時刻】午後7時30分 開始
- 【場所】芳養小学校グラウンド
- 【参加資格】芳養公民館区在住または在勤の方で、1チーム4人でお申込みください。
- 【参加申込】8月13日（火）までに芳養公民館までお申込みください。
※参加申込書は芳養公民館に置いています。
- 【表彰】団体表彰及び個人表彰（ホールインワン賞・男性優勝・女性優勝）
- 【問合せ先】芳養公民館（TEL：22-1429 FAX：23-1909）



缶短料理教室について

- 【日時】8月29日（木）
午前10時～午後1時（受付：午前9時30分）
- 【場所】芳養公民館 2階 料理実習室
- 【内容】体力的な理由や日常の忙しさから調理の時間が短くなってきたという方々に、非常時にも役立つ缶詰を使って短時間でできる料理を紹介し、簡単に栄養バランスがとれる知識を学んでもらう。
- 【対象】田辺市民で65歳以上の方
- 【定員】12名（先着順）
- 【参加費】500円
- 【持ち物】エプロン、三角巾、手拭きタオル、マスク、上靴（すべりにくい物）、筆記用具
- 【参加申込】7月11日（木）～7月31日（水）の間にやすらぎ対策課高齢福祉係（TEL：26-4910）までお申込みください。
- 【問合せ先】やすらぎ対策課高齢福祉係（TEL：26-4910）



7月の古紙回収日【毎月第1・3火曜日】

7月2日（火）、16日（火）

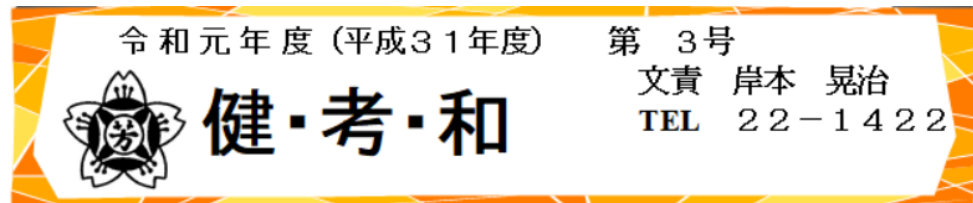
◎午前中に、芳養公民館前に出してください。

◎雑誌、新聞は、必ず紙ヒモでくくって出してください。

※回収日以外は、回収できませんので出さないでください。



芳 養 小 学 校



言葉づかいは心づかい



先日、校長講話で「言葉づかい」について話をしました。最近の子どもたちの様子を見ると、学級や友だちとも慣れてきたこともあるのでしょうか、「～しろ」「バカ」「あほ」「さいあく」「マジ、ムカつく」などの言葉を聞くことがあります。このような言葉を言われると腹が立ちますし、悲しくなってきました。また、周りで聞いていても良い気持ちはしません。このような言葉は『ちくちく言葉』と言って、他にも「死ぬ」「殺すぞ」「さいてい」「あっちへ行け」「こんなことも知らんの」などや、「チビ」「ブス」「デブ」などの体のことを言うのも入ります。

では、なぜこのような『ちくちく言葉』を言うのでしょうか。最近のテレビのバラエティ番組では、「死ぬ」「殺すぞ」「消えろ」などの言葉が流行のように出てきます。また、アクションやバトルゲームやユーチューブの動画の中にも似たような言葉が出てきます。このような言葉をいつも耳にして聞き慣れると、それをまねして言うことが当たり前になって、変だと思わなくなります。また、私たち大人も家庭や職場でこのような言葉を使っているのではないのでしょうか？ また、子どもが使っているのを見逃していないのでしょうか？ 芳養小学校では、この『ちくちく言葉』をなくしていきたいと考えています。

その反対に『ふわふわ言葉』というものがあります。これは「ごめんね」「おはよう」「こんにちわ」「ありがとう」「だいじょうぶ」「手伝おうか」「すごいね」「ドンマイ」など、聞いていて気持ちが良く元気の出る言葉です。『ふわふわ言葉』は、言っても言われても自己肯定感を高めると言われています。子どもたちの『ふわふわ言葉』を増やすには、まず私たち大人こそが使っていかなければと思います。

私は、「言葉づかいは心づかい」だと思います。この言葉を聞けばその人はどう思うだろうと考えること。自分が言われたらどうだろうと考えること。自分と同じように家族や友だちも大切にすること。そうすれば、『ちくちく言葉』が減って、『ふわふわ言葉』が増えると思います。



いのちを守る一旦停止

交差点や横断歩道では、自転車も歩行者も一旦停止。当たり前のことですが、なかなか守れていません。「車は来ないだろう。」「止まってくれるだろう。」「という思い込みから、飛び出したり確認しなかったりするのでしょうか。自分の身は自分で守るためにも、「止まってくれないかも知れない。」「車が来ているかも知れない。」という予測をする必要があると考え、子どもたちに指導していきます。



お花ありがとうございます

芋村にお住まいの森本恵美子さんが花苗をくださり、芳養小はいつも花盛りです。先日も、ペチュニアやサルビア、松葉ボタンなど300株ほどをいただきました。花を育て見ることで人権意識を育てていきたい思います。

大 坊 小 学 校

『落成記念コンサート』華やかに開催！



5月26日の落成式に引き続き、6月1日には『落成記念コンサート』を開催しました。当日は神奈川県から3名の邦楽奏者をお招きし、尺八とお琴の生演奏を地域の皆様とともに楽しむことができました。

「春の海」や「ジブリメドレー」「ハナミズキ」などたくさんの曲を聴かせていただき、また最後には「大坊小学校校歌」を尺八とお琴の伴奏で児童が歌い上げるというサプライズもあって、とても楽しいひとときでした。

これで、落成式に関する一連の行事が終わりとなります。

2校合同で修学旅行を実施！

5月23日、24日の2日間、秋津川小学校と合同で、修学旅行に行ってきました。6年生は昨年度、一緒にキャンプを体験していたので、すぐに仲良くなりました。行程は2年前と少し変更して早めに東大寺に着き、大仏殿と若草山でたっぷり時間を過ごすことができました。宿泊先の「ことゆう」（滋賀県）では、中芳養小学校の6年生と一緒にしました。

2日間、天気も良くすべての行程がスムーズに進み、最後のU.S.J.では思いっきり楽しんで修学旅行の最後を締め括りました。みんな元気に帰ってきました。



金閣寺で記念写真。ハイビース！

家庭における「勤労体験学習」を実施しました。

大坊小学校では、年に2回、土・日に「家庭における勤労体験学習」を実施しています。梅の収穫時期の6月とみかんの収穫時期の12月です。日頃からのお手伝いはもちろんのことですが、特に農繁期のこの時期に「地域の産業を知る」という意味も込めて行っています。

児童の作文紹介 「うめとり」 2年 宮崎 まな

今日はうめとりのお手つだいをしました。うめとりははじめてのお手つだいだったので、お父さんにおしえてもらいました。うめのみをどんととったら、じぶんのかごに入れていきました。かごがいっぱいになってきたら、コンテナに入れました。うめの入ったかごをコンテナのところまではこぶのが、一ばんつかれました。

今年度 第2回目のクラブ活動「絵手紙を描こう」



今年度も、3年生から6年生までのクラブ活動に地域の先生方に来ていただいています。1学期は毎年恒例の「絵手紙クラブ」です。講師の栗原和子先生は10年以上前から絵手紙を子どもたちに教えに来てくださっています。今回は、季節の花「あじさい」を題材に用いて「これまでお世話になった先生方に絵手紙を送ろう」ということで、感謝を込めて描きました。一人ひとりの思いがあふれた素敵な作品が仕上がりました。きっとかわって行かれた先生方も喜んでくれることと思います。

6月 いしがきの歌

くぬぎの木 くわがた2匹 バトルする 3年 松上 隼人

明 洋 中 学 校



明洋中学校から

◇県中学校バスケットボール選手権大会で女子チーム優勝！

本校女子バスケットボール部は、6月8日に和歌山市のビッグウェーブで開催された県大会に出場しました。

本大会は、県下の4ブロックの地区予選で優勝したチームが出場し競いました。1回戦は和歌山市代表の西脇中学校と対戦、50-43で競り勝ちました。

2回戦は吉備中学校と対戦し、第4クォーターまでリードされていましたが、その後追いつき逆転し59-57で逃げ切り、優勝を勝ち取ることができました。

観戦者も手に汗を握る試合で、応援にかけつけた男子バスケットボール部員の応援にも力が入り、メガホン越しの大きな声援が印象的でした。

本大会は、8月に本県で開催される全国中学校総合体育大会のリハーサル大会も兼ねていたので、2日目には日大桜華中学校（東京）、高南中学校（大阪）と対戦し、部員たちは全国の壁の高さを知ることができ、貴重な経験になったと思います。

全国中学校総合体育大会では開催県の出場枠が与えられるため、県中学校総合体育大会優勝チームは出場できます。さらに練習で力をつけ、全国大会出場をめざして欲しいと思います。

【女子バスケットボール部キャプテン 木下 幸奈】

県バスケットボール選手権大会では、自分たちの持ち味である相手のミスを誘うディフェンスからの速い速攻で試合を進めることができました。

たくさんの方から応援していただき、しんどいときでも頑張ろうと思いました。全日本中学校総合大会に出場することが目標なので、課題を克服できるよう残り少ない練習をしっかりと取り組みたいです。

◇「睡眠朝食シート」の取組について

学力と睡眠時間や朝食は、密接に関係していることが様々な調査により明らかにされています。

和歌山県教育委員会は、健康面や学力面から「早寝、早起き、朝ごはん」を推奨しています。

本校は学力向上の取組の一環で、「睡眠朝食シート」という調査を実施しています。

5、9、1月の年3回実施し、就寝時間や朝食をとったかどうかを2週間調査します。生徒が自分自身の生活を確認して、生活習慣を見直す機会として取り組んでいます。

本調査から、本校生徒は平均22時台を就寝目標にしていることがわかり、実際の就寝平均時刻は、1年生22時21分、2年生は22時55分、3年生は22時49分で、学年の平均就寝目標時刻とほぼ同じぐらいでした。

しかし、午前0時をまわって就寝している生徒もあり（1年生0名、2年生5名、3年生5名）、SNSやユーチューブなどの動画視聴により就寝時刻が遅くなっている実態も浮かび上がってきました。

基本的な生活習慣は、学習や様々な教育活動の土台となるため、引き続き取組を進め、生徒の生活改善を促し、学力向上へつなげたいと考えています。

◇人権教育総合推進地域事業講演会を開催します

先月の公民館だよりでも紹介しましたが、本年度から明洋中学校、田辺第三小学校、芳養小学校の3校は文部科学省から「人権教育総合推進地域事業」の指定を受け研究推進を行っています。

この研究指定は地域と連携した取組を進めることになっており、その一環として、今回の研究推進でご指導をいただいている鳴門教育大学教職大学院の阿形恒秀教授に來校いただき人権教育講演会を開催します。

本講演会は地域、保護者の皆さま方を対象にしていますので、是非ご出席をお願いいたします。

「学校を拠点とした地域の活性化」
～人口減少社会における地域・学校の在り方を考える～

講 師：鳴門教育大学教職大学院 阿形恒秀 教授

日 時：令和元年7月22日（月） 19時30分～20時30分
場 所：明洋中学校 2階多目的ホール

問い合わせ先：明洋中学校 （22）- 5410
田辺第三小学校 （22）- 0466
芳養小学校 （22）- 1422